

素敵なテキストベース仕様書の例

Table of Contents

1. はじめに.....	1
2. AsciiDocの記法(基本).....	1
2.1. セクション.....	1
2.2. リスト.....	1
2.3. 番号付きリスト.....	1
2.4. テキスト修飾.....	1
2.5. テーブル.....	1
2.6. ブロック.....	2
2.7. 改ページ.....	3
2.8. PlantUML.....	3
2.9. mermaid.....	3

1. はじめに

本書はAsciiDoc、PlantUML、mermaidなどを使ったテキストベース仕様書の例を示すことを目的とする。

2. AsciiDocの記法(基本)

AsciiDocの記法について記載する。なお、ここで紹介するのはほんの一部の記法のみなので詳細は[公式ページ](#)を参照。

2.1. セクション

セクションは行頭を "=" で始める。"="の数でレベルを表現

2.2. リスト

- リストは * ではじめる
 - *の数でレベルを表現する
 - level3

2.3. 番号付きリスト

1. 番号付きリスト
 - a. こちらも同じく .. の数でレベルを表現

2.4. テキスト修飾

下記のようなものができる

太字 斜体 ©

などなど多彩。 [AsciiDoc cheatsheet](#)を参照

2.5. テーブル

項番	内容
1	.centerで表示位置を中央に
2	header でヘッダつき
3	autowidth で幅を自動で調整してくれたり
4	一つのセル内に複数行で書くこともできる

2.6. ブロック

コードブロックの例

```
require 'optparse'
opt = OptionParser.new

opt.on('-a') {|v| p v }
opt.on('-b') {|v| p v }

opt.parse!(ARGV)
p ARGV

ruby sample.rb -a foo bar -b baz
# => true
true
["foo", "bar", "baz"]
```

コードハイライトもされるので、見た目も良い

2.7. 改ページ

<<< で改ページ。PDFを出力する時にたまに使う。

2.8. PlantUML

PlantUML を直接書ける

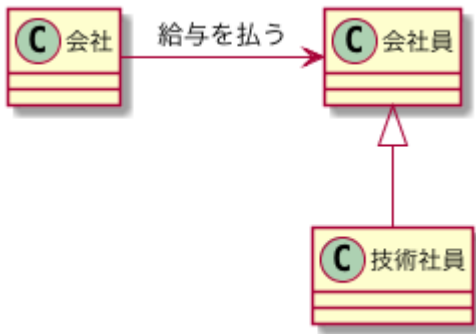


Figure 1. PlantUMLの例

2.9. mermaid

mermaid も直接書ける

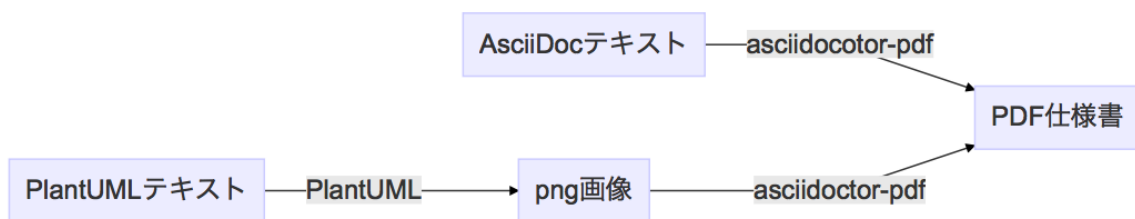


Figure 2. mermaidの例